業績ハイライト

第7次中期経営計画「Phase Change 2020」の1年目の成果は次のとおりとなりました。

第7次中期経営計画(2020年度～2022年度)

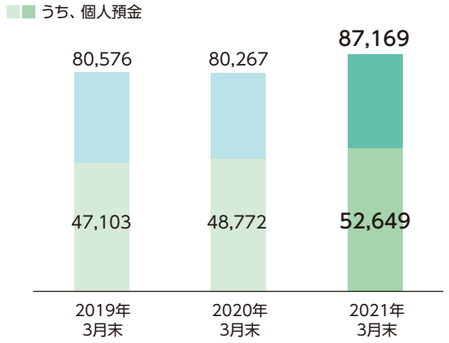
■主要計画計数（計画最終年度、自己資本比率のみ計画期間中）

親会社株主に帰属する当期純利益	200億円
実質ROE（株主資本ベース）	4%以上
OHR	60%台
自己資本比率	10%以上

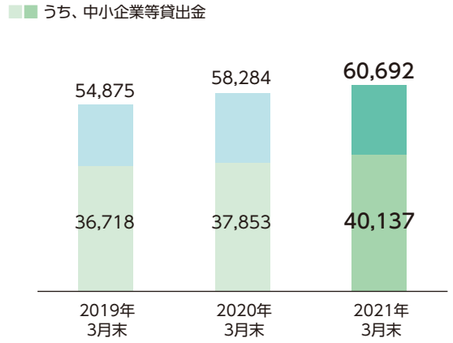
■株主還元

配当性向	安定配当を基本としつつ配当性向30%を目安とする （これまでの25%より5%引き上げる）

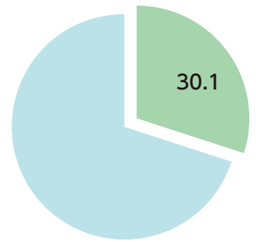
預金・譲渡性預金（単位：億円）



貸出金（単位：億円）

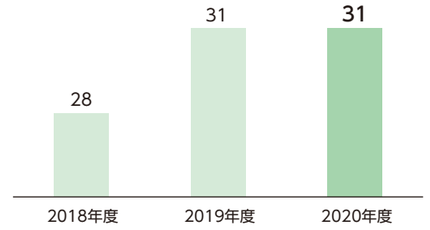


京都府内貸出金シェア（単位：%）

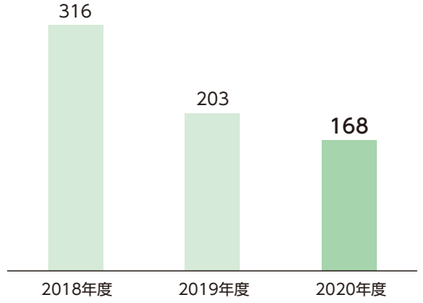


法人ぐるみ収益（単位：億円）

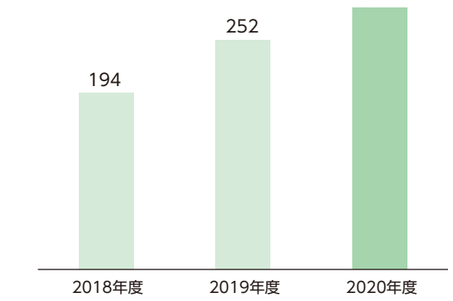
（シンジケートローン、M&A、ビジネスマッチング等による収益）



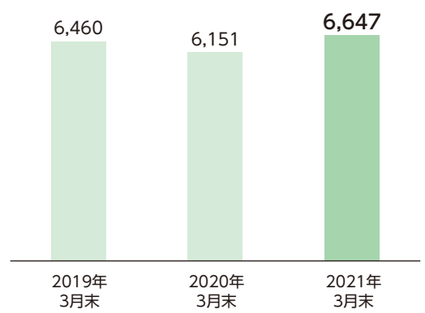
親会社株主に帰属する当期純利益（単位：億円）



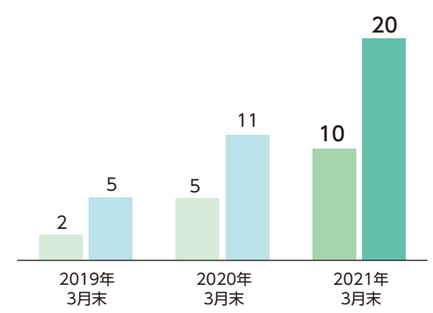
実質業務純益（単体）（単位：億円）



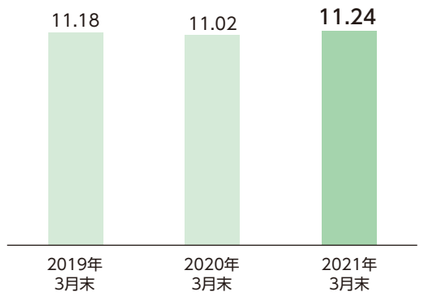
グループ預かり資産残高（単位：億円）



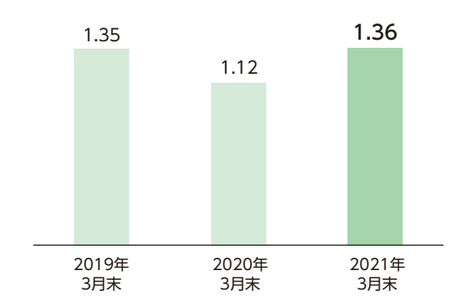
スマート通帳口座数・京銀アプリ登録件数（単位：万件）



単体自己資本比率（国内基準）（単位：%）

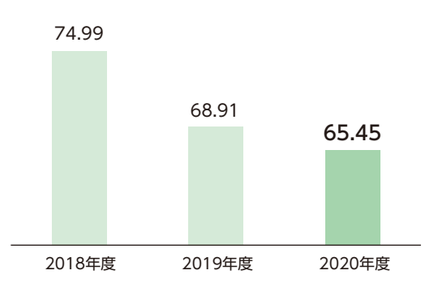
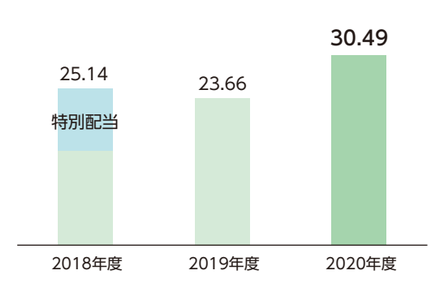


金融再生法に基づく開示債権比率（単体）（単位：%）



OHR（単体）（単位：%）

（営業経費÷業務粗利益）



当期純利益に対する配当性向（単位：%）